

ABOUT KUTANism

クタンニズム



KUTANism/クタンニズムは、

日本を代表する伝統工芸「九谷焼」の産地、

石川県小松市と能美市が共同で初開催する祭典です。

古代から脈々と受け継がれてきた思想・哲学や、

さまざまな自然の恩恵、時代の価値観や美意識を掛け合わせ、

産地の総合芸術祭として“九谷焼/KUTANI”を

世界に向けて発信します。

KUTANism is the first joint event between Komatsu and Nomi City to celebrate their shared heritage of Kutani ceramics, one of Japan's pottery styles. The various pieces created since ancient times until the present reflect the ideologies, philosophies, the interpretations of nature, and even the sense of values and aesthetics of the eras that they were produced. We hope that through these localized art festivities, we will be able to promote Kutani on a global scale.

産地の総合芸術祭

KUTANism

2019.9/6fri. — 10/14mon.

開催地：石川県小松市 能美市
VENUE: KOMATSU city & NOMI city

kutanism.com

「九谷の現在」展

EXHIBITION 9/6fri.-10/14mon.

総合監修：秋元 雄史 (東京藝術大学大学美術館館長・教授)
Yuji Akimoto Director & Professor, The University Art Museum, Tokyo University of the Arts

「九谷の現在(いま)」は、360年以上にわたって受け継がれている九谷焼の魅力を解き明かそうと、2つの異なるコンセプトで構成する展覧会です。ひとつは「カラフル・オーナメント・オブジェ・クタンニ」と題し、表現性を追求した作家21名の立体作品を九谷セラミック・ラボラトリーで紹介。もうひとつは名工選「NEXT九谷」展。九谷焼の伝統や技術を継承しながら新たな価値創造に挑む作家43名の作品を浅蔵五十吉美術館で展示します。「表現する九谷」と「継承する九谷」、それぞれの切り口で現代の九谷の魅力を探ります。

"Kutani of the present (now)" is a series of exhibitions that is composed of 2 different concepts, intending to flesh out the charms and appeal of Kutani pottery, which has a history of over 360 years. The first exhibition "Kutani: Colourful, Ornamental, Objet D'art" is to be held at the Kutani Ceramic Laboratory. This gallery covers the works of 21 artists that were created in their pursuit of creative expression. The other exhibit, "NEXT Kutani" will be held at that Asakura Isokichi Art Gallery, and will feature the works of 43 different artists, showing the challenges of inheriting the tradition and skill while adding their own value and styles. "Expressive Kutani" and "Inheriting Kutani" amongst other perspectives are but some of the ways we can explore the charm of Kutani.

「カラフル・オーナメント・オブジェ・クタンニ」展

キュレーション 秋元 雄史 (東京藝術大学大学美術館館長・教授)

会場 / 九谷セラミック・ラボラトリー(セラボクタンニ)

出展作家 ※五十首級		
伊藤 由紀子	木戸 優紀子	朴木 友美
今西 泰起	米谷 彰能	水元 かよこ
大石 さくら	澤谷 由子	南 紗貴子
上出 恵悟	田辺 京子	牟田 陽日
川上 真子	田村 星都	山崎 裕理
北井 真衣	中山 昌果	山野 芳久恵
北村 和義	東元 生	吉田 るみこ

住所 / 〒923-0832 石川県小松市若杉町ア91 休館日 / 水曜日
時間 / 10:00-17:00(最終入館は16:30まで) 入館料 / 一般 300円 学生(高校生以下) 150円

名工選「NEXT九谷」展

キュレーション 中矢 進一 (能美市九谷焼資料館館長)

会場 / 浅蔵五十吉美術館

出展作家 ※五十首級		
浅蔵 一華	齋藤 まゆ	林 美佳里
有生 礼子	佐藤 剛志	平野 由佳
石富 俊二郎	澤田 郁美	広瀬 絵美
井上 雅子	柴田 有希佳	船木 大輔
今川 朋美	竹内 瑠璃	三浦 晃禎
織田 恵美	武藤 彩子	水元 かよこ
藤亦 秀彰	多田 幸史	三ツ井 達也
金丸 涼花	田畑 奈央人	南 綺子
上出 恵悟	田村 星都	宮本 雅夫
河内 範子	仲田 錦玉	牟田 陽日
川島 優子	中田 博士	山岸 青矢
河田 里美	中田 雅巳	山近 泰
上端 伸也	新田 智子	吉村 茉莉
北出 太郎	柴谷 庸子	
北村 和義	糠川 孝之	

記念トークセッション「表現する九谷」 要参加申し込み
日時 / 2019年9月16日(祝・月) 15:00-17:00
会場 / 九谷セラミック・ラボラトリー(セラボクタンニ)
人数 / 50名 参加費 / 無料

プログラム 15:00-15:30 話題提供「現代陶芸のはじまりに：走泥社と陶片」
講師：中村裕太(美術家、京都精華大学芸術学部特任講師)略歴：1983年東京生まれ、京都在住。2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了。博士(芸術)。近年の展示に「第20回シドニー・ビエンナーレ」(2016年)、「走泥社：現代陶芸のはじまりに」(森美術館、2019年)など。

15:30-17:00 トークセッション「表現する九谷」
パネリスト：「九谷の現在(いま)」展出展作家
モデレーター：秋元雄史(「九谷の現在(いま)」監修、東京藝術大学大学美術館館長・教授)

九谷饗宴

SESSION

霊峰・白山のすそ野に広がる豊かな自然と、先人の技や智が息づく加賀國を舞台に、九谷焼と食を存分に味わうスペシャルイベント。国内外で腕を磨いた料理人と九谷焼作家による1日限りのコラボレーションランチ・ディナーと、メディアで話題の飲食店や酒蔵の逸品を楽しめる屋台イベントを実施します。

This is a special event to fully experience Kutani ceramics and local cuisine. It is set in Kaga province that has rich nature spread at the foot of sacred mountain Hakusan and where technique and wisdom of the predecessors are still alive. There will be a one day only collaboration dinner hosted by chefs who polished their skills both in Japan and abroad and by Kutani ceramics artists, and a food and drink stands event where one can try exquisite produce of restaurants and sake breweries which are now at the tip of media attention.

会場 / SHOKUDŌ YArn

9/28sat. 要予約 定員 / 各回11名

ランチ 12:00-15:00(Open11:45)
参加費 / 10,000円(税込,ドリンク代別)

日 時 / 2019年9月28日(土)
住 所 / 〒923-0835 石川県小松市吉竹町1丁目37-1

ディナー 18:30-21:30(Open18:15)
参加費 / 20,000円(税込,ドリンク代別)

九谷焼作家 吉田 幸央
1960年小松市生まれ。88年に錦山窯に入り、09年より錦山窯四代。92年伝統九谷焼工芸展大賞、10年日本伝統工芸展高松宮記念賞。

料理人 米田 裕二
1976年生まれ、石川県能美市出身。金沢大学卒業後、イタリアとスペインで料理修行を行った後、2015年SHOKUDŌ YArnをオープンする。

九谷焼作家 吉田幸央と料理人 米田裕二がSHOKUDŌ YArnで行う1日限りの食事会。2人がこれまでに経験してきた様々なエッセンスを染色体のように組み合わせ、九谷焼の産地でしかできない表現を創作します。

会場 / 那谷寺

9/29sun. 要予約 定員 / 20名

参加費 / 50,000円(税込,ドリンク代含)

日 時 / 2019年9月29日(日) 17:00-20:00
住 所 / 〒923-0336 石川県小松市那谷町ユ122

九谷焼作家 中村 卓夫
中村梅山の次男。金沢に根づく数寄文化や父・梅山の考案による象嵌色絵の手法を用いつつ、「うつわ」と空間の関係領域を拡張、展開している。本プログラムでは企画監修も担当。

九谷焼作家 牟田 陽日
1981年東京都生まれ。2008年ロンドン、ゴールドスミスカレッジ、フィンアート科卒業。2012年石川県立九谷焼技術研究所卒業。2016年バラムタ大賞受賞。

ル・グリル ドミニク・ブシェ カナザワ
を迎え、那谷の霊谷に繰り広げるガストロノミー。(いわやを巡り)・奇麗を眺めながら、谷を満たす楽曲の「宴遊」。九谷の奇想が一夜の為に器を持って伴奏します。

料理 ル・グリル ドミニク・ブシェ カナザワ
パリの星付きシェフドミニク・ブシェが監修する。北陸の食材と熟成肉をメインとした新感覚フレンチレストラン。

音楽演出：直江 学美

会場 / 能美市九谷焼資料館前駐車場

9/21sat.-22sun.

日 時 / 2019年9月21日(土)・22日(日) 10:00-16:00
住 所 / 〒923-1111 石川県能美市泉台町南56
定 員 / 2日間500名(1日250名) ※荒天中止

「美味しく九谷を楽しもう！」をテーマに、石川・福井の飲食店が逸品を持ち寄った屋台が並びます。九谷陶芸村まつり(秋の九谷茶碗まつり)の連中、九谷好きが集う横丁にふらっとお立ち寄りください。

出展店舗 EATLAB ウミネコバーラー 金沢プルワリー KOKOPELLI COFFEE 中国料理とシェリー酒 西華房 三七味噌 おすしと和食はた中 東酒造 ひらびん FLAT KITCHEN

予約・参加お申し込みはこちらから



KUTANism
クタンニズム 公式サイト

九谷饗宴のみ9/2(月)予約受付開始

お問い合わせ
クタンニズム実行委員会 〒923-8650 石川県小松市小馬出町91
(小松市観光文化課内) info@kutanism.com

KUTANIと加賀國1200年

SYMPOSIUM 9/15sun.

北陸新幹線が加賀地域に延伸開業する2023年、加賀立国1200年を迎えます。この大きな節目を前に、小松・能美両市のイメージの要となる「九谷焼/KUTANI」を地域ブランドとしていかに世界に発信するべきか、九谷焼作家や識者が今後の方向性を展望します。

In 2023, when extended Hokuriku Shinkansen (Hokuriku Bullet Train) line will start its service, Kaga province will celebrate its 1200-year anniversary. Prior to this major milestone, Kutani ceramics artists and experts will discuss prospects of how to deliver to the whole world the local brand of "Kutani ceramics / KUTANI" that now serves as a core image of Komatsu city and Nomi city.

日 時 / 2019年9月15日(日)14:00-17:30
(開場13:30)
会 場 / こまつ芸術劇場うらら 小ホール
住 所 / 〒923-0921 石川県小松市土居原町710
定 員 / 250名 参加費 / 無料

THEME.01 14:10-15:10

九谷の現在 -継承の九谷-

モデレーター 能美市九谷焼資料館館長 中矢 進一

パネリスト

九谷焼作家 浅蔵 一華	九谷焼作家 有生 礼子	九谷焼作家 上出 恵悟
九谷焼作家 田村 星都	九谷焼作家 中田 博士	九谷焼作家 牟田 陽日

THEME.02 15:15-16:15

アラウンド九谷 -九谷の文化-

モデレーター 東京藝術大学大学美術館館長・教授 秋元 雄史

パネリスト

ファッション・ジャーナリスト 生駒 芳子	建築家 浦 淳	料理人 米田 裕二
----------------------	---------	-----------

THEME.03 16:30-17:30

九谷を世界へ

モデレーター 東京藝術大学大学美術館館長・教授 秋元 雄史

パネリスト

小松市長 能美市長 クタンニズム実行委員会 会長 和田 慎司	能美市長 能美市長 クタンニズム実行委員会 副会長 井出 敏朗
石川県陶磁器商工業協同組合 東 浩一	九谷焼作家 吉田 幸央